

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	財政課長	内海 正彦
総務-07 財政事務		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	財政課
総合計画上の位置付け		分野	行財政運営	施策の方針
			行財政運営	

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	市民等	予算の編成、執行管理及び市債全体の管理に係る事務 財務諸表の作成・公開、財政の健全化比率の算定・公開に係る事務		
意図	予算編成、予算執行管理を円滑に実施し、財政の効率化を図るため。			
効果	長期にわたって健全な財政基盤を確立する。			

3 事業費等基礎データ					
データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人口	世帯数	人口	世帯数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円)	15,357	決算値(千円)	13,228	/
	国県支出金	0	国県支出金	0	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	7	その他	0	
	一般財源	15,350	一般財源	13,228	
事業経費運営	人員配置数	5.5	人員配置数	5.5	
	人件費(千円)	44,715	人件費(千円)	43,006	
	総事業費(千円)	60,072	総事業費(千円)	56,234	
	市民1人当りの経費(円)	339	市民1人当りの経費(円)	317	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	予算編成、予算執行管理を円滑に実施し財政の効率化を図っていく。また、公会計制度や財政の健全化に関する法律に基づく指標の公開など事務量が增大する傾向にあるので、より効率的な事務処理が求められる。				
課題解決のために行った平成26年度の取組	包括予算制度及び財務会計システムの運用並びに事務執行の効率化を進めることにより、事務の円滑な執行を図っていく。			<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題 新たな課題	事業を執行するのに必要な財源が十分に確保されておらず、財政運営の健全性が十分に確保されていない。				
効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある			
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない			
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある			
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない			
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない		
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	事業へ統合
	予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	包括予算制度運用等により、持続可能な財政運営を行うとともに、効率的な事務処理を進めることで、超過勤務削減を図るため。	
総評	持続可能な財政運営を常に実施し、これを将来にわたり、続けていくことができるようにしっかり取り組んでいきたい。また、平成26年度から全部局において、包括予算制度による予算編成を実施したが、今後、さらに制度を高めていく必要があると考えており、制度の向上が図れるように様々な取組みを行っていきたい。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	経常収支比率								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	93.7%	87.9%	94.3%	91.4%	88.2%	96.0%	99.8%	97.4%	101.0%

比較事項	実質公債費比率								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	-0.6%	2.3%	1.2%	2.3%	8.0%	6.5%	0.4%	5.2%	18.4%

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方
 経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示していることから、少しでも比率を低くするように努力していきたい。また、実質公債比率は、一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率であるが、本市では他市と比べ低い比率となっていることから、今後もこの状態を維持していきたい。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---